

## ミネラルウォーター宅配業

### 最近の業界動向

#### ●宅配水の顧客数（設置台数）は482万台

日本宅配水&サーバー協会の資料によると、令和4年末の宅配水の顧客数（ウォーターサーバーの設置台数）は前年比3.7%増の482万台であった。また、令和4年の市場規模は、前年の1,816億円に比べて16.5%増の2,115億円となっている。

#### ウォーターサーバーの設置台数（単位：千台）

容器別	令元年	令2年	令3年	令4年
リターナブル	1,900	1,870	1,820	1,820
OW・BIB	2,240	2,560	2,830	3,000
合計	4,140	4,430	4,650	4,820

(出所) 日本宅配水&サーバー協会

#### ●「ウォーターポイント八王子」を本格稼働

「水の自販機」を展開するウォーターポイント（広島市）は令和5年3月、水工場「ウォーターポイント八王子」を本格稼働させた。平時はミネラルウォーター製造工場として稼働しているが、災害発生時には、近隣住民に飲料水とトイレなどに使用する生活用水として20トンを提供する。「水の自販機」は、逆浸透膜技術を搭載したタッチパネル型の水の自動販売機で、純粋水から硬水まで濃度が選べる水自販機給水タイプのウォーターサーバーで、スーパーマーケットを中心に導入されている。また、2月9日から、新製品「famfit（ファミフィット）」の販売を始めた。水の交換が簡単にできるボトル置き型のウォーターサーバーで、ボトルキャップが上向きのままセットできるため、水がこぼれにくい構造になっている。ウォーターポイントは、ペットの健康飲料「お水のサブリ」なども手掛けている。

#### ●非接触型ウォーターサーバー「Aube」

ダイオーズジャパンは令和5年4月、オフィス向けに非接触型ウォーターサーバー「Aube（オーブ）」の提供を開始した。本体に触れることなく手をかざすだけで冷水や温水を出すことができ

る。ダイオーズジャパンは、事業所向けコーヒーサービスやクリーンケアサービス事業のほか、「ビューウォーター」を中心としたボトルウォーターサービス事業を手掛けている。

### マーケットデータ

#### ●宅配水の市場規模

日本宅配水&サーバー協会によると、令和4年の容器別の宅配水の市場規模はリターナブルが前年比21.7%増、OW・BIBが同13.2%増となっている。業者が回収するリターナブルの市場は減少傾向にあったが、令和4年は増加に転じている。宅配後使い切った水の容器を家庭で捨てる形式のOW（ワンウェイ）・BIB（バックインボックス）は増加が続いている。宅配水の市場規模（販売金額）の推移は次の通り。

#### 宅配水の市場規模の推移（単位：百万円）

容器別	リターナブル	OW・BIB	合計
令元年	70,000	1,746	1,816
2年	77,000	1,800	1,877
3年	76,000	1,960	2,036
4年	86,000	2,255	2,341

(出所) 日本宅配水&サーバー協会

#### ●宅配水の製造量

日本宅配水&サーバー協会によると、令和4年の宅配水の製造量は前年比1.2%増の167万、900リットルであった。宅配水の製造量の推移は次の通り。

#### 宅配水の製造量の推移（単位：kL）

容器別	リターナブル	OW・BIB	合計
令元年	693,000	651,000	1,334,000
2年	701,800	759,600	1,461,400
3年	670,000	876,000	1,546,000
4年	660,000	907,000	1,567,000

(出所) 日本宅配水&サーバー協会

#### ●ナックの売上高

宅配水大手のナックの売上高は次の通り。ナックの令和5年3月期の売上高のうち、宅配水のクリクラ事業の売上高は前期比1.9%減の147億3,300万円であった。ショッピングセンターなどで行うイベント営業への販促投資、浄水型ウォーターサーバー「フィールフリー」などの新商品や新サービスの提供を行っている。

#### ナックの売上高（単位：百万円）

社名	売上高	当期純利益	決算期
ナック	57,068 (55,513)	2,002 (1,708)	令5・3

(注) カッコ内は前の期  
(出所) 決算資料

### 業界の特性

#### ●会員数

日本宅配水&サーバー協会に加盟する会員数は令和5年7月末現在、正会員28社、準会員1社、賛助会員40社、特別会員1社の計70社である。

#### ●大手企業

宅配水の手続きは、ナックやクリクラのほか、ダイオーズジャパン、アube、フィールフリーなどがある。また、ペットボトル回収サービス展開しているのは、ナックやクリクラと、全国各地の企業にペットボトル回収サービスや代理店契約を結び、宅配水事業を展開している。既存事業と相乗効果を図ることを目的に宅配水事業に取り組む企業も多い。

#### ●リターナブルワンウェイ方式

リターナブルワンウェイ方式は、業者が回収するリターナブルボトルを、家庭で廃棄する「ワンウェイボックス」がある。リターナブル方式の場合、ボトルは回収され再利用される。

#### ●PET容器の識別表示

令和2年4月1日から、「資源有効利用促進法」の経済産業省令一部改正に伴い、ウォーターサーバー用PETボトルも、量販店やコンビニエンスストアなどで販売されているPETボトル飲料などの容器と同じく、識別表示（リサイクルマーク表示）が義務化された。識別表示義務対象者（PETボトル）は、製造事業者、輸入販売事業者、PETボトルに飲料・酒類などを充填する事業者。

#### ●飲料水などを迅速・円滑に供給

アクアクララは令和5年4月27日、名古屋市と「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書」を締結した。応急生活物資として、飲料水などを迅速・円滑に供給する。また、4月1日、業務効率化、サービス向上を目的に直営営業部門と製造部門をそれぞれ2社に継承（吸収分

割）した。直営営業部門の分割先会社はアクアクララレモン、製造部門の分割先会社はアクアクララボトリングである。

### ノウハウ

#### ●「施設衛生管理適合証」を取得、更新

天然水宅配サービスのマーキュロップは、ウォーターサーバーのメンテナンスセンターで、全国水利用施設環境衛生協会による「施設衛生管理適合証」を取得、更新した。施設衛生管理適合証は、水を利用する施設で清掃や検査など、適切な衛生管理が実施されていることが認められた場合に発行されるもので、年に1度審査を受けている。メンテナンスセンターでは、回収したウォーターサーバーを分解、洗浄殺菌などを行い、リユース品として再使用している。

#### 経営指標

ここでは参考として、TKC経営指標（令和5年版）より、「他に分類されない飲食品小売業」の数値を掲げる。

TKC経営指標 (変動損益計算書)	全企業 67件	
	平均額(千円)	前年比(%)
売上高	114,515	105.4
変動費	58,946	105.4
仕入高	57,040	106.1
外注加工費	3	8632.6
その他の変動費	1,902	87.0
限界利益	55,569	105.4
固定費	54,973	102.5
人件費	28,788	101.8
減価償却費	2,347	85.2
租税公課	587	110.8
地代家賃・賃借料	3,265	101.2
支払利息・割引料	505	98.5
その他	19,480	106.4
経常利益	595	▲68.5
平均従業員数	9.6名	

### 今後の課題/将来性

#### ●将来性

宅配水の認知度が高まり、市場は成長が見込まれているが、競争も激しくなっている。

《関連団体》 一般社団法人日本宅配水&サーバー協会

東京都千代田区岩本町3-11-8

TEL 03 (5835) 1125